|  |
| --- |
| ４０６５．積荷目録情報ＣＹ一括訂正 |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＣＭＣ | 積荷目録情報ＣＹ一括訂正 |

１．業務概要

登録済みの積荷目録情報に対し、本船利用船会社単位にコンテナオペレーション会社コードの一括訂正を行う。

なお、本業務は、「積荷目録提出（ＤＭＦ）」業務実施前まで可能とする。

２．入力者

船会社、船舶代理店

３．制限事項

①１船舶情報＊１（船会社コードを除く）に対して登録できるコンテナオペレーション会社数は、最大５件とする。なお、本業務実施前に５件の登録がある場合で、訂正後コンテナオペレーション会社が登録済みのコンテナオペレーション会社以外である場合は実施不可とする。

（＊１）船舶情報とは、以下の４項目を指す（以下、同様）。

①船舶コード

②船会社コード

③船卸港コード

④船卸港枝番

４．入力条件

（１）ＣＭＣ業務の場合

（Ａ）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②船会社の場合は、「積荷目録情報登録（ＭＦＲ）」業務で登録された貨物に係る船会社であること。

③船舶代理店の場合は、入力された船卸港において当該船会社との受委託関係がシステムに登録されている船舶代理店であること。

（Ｂ）入力項目チェック

（ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｃ）積荷目録管理ＤＢチェック

①入力された船舶情報に対する積荷目録管理ＤＢが存在すること。

②入力された船舶情報に対するＤＭＦ業務が行われていないこと。

③入力された船舶情報に対する積荷目録管理ＤＢに対して、訂正前コンテナオペレーション会社コードが登録されていること。

（Ｄ）積荷目録情報ＣＹ一括訂正管理ＤＢチェック

入力された船舶情報に対して、本業務による内部処理中でないこと。

（Ｅ）貨物情報ＤＢ、コンテナ情報ＤＢチェック

後述５．（１）（Ｃ）の抽出処理において、処理対象のＢ／Ｌまたはコンテナが１件以上存在すること。

５．処理内容

（１）ＣＭＣ業務の場合

（Ａ）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（Ｂ）積荷目録情報ＣＹ一括訂正管理ＤＢ処理

①入力された船舶情報および訂正前コンテナオペレーション会社コードに対する積荷目録情報ＣＹ一括訂正管理ＤＢを作成する。

②本業務により内部処理中である旨を登録する。

（Ｃ）貨物情報ＤＢ、コンテナ情報ＤＢ抽出処理

（ａ）貨物情報ＤＢの抽出処理

以下の条件をすべて満たすＢ／Ｌを貨物情報ＤＢより抽出する。

①入力された船舶情報および訂正前コンテナオペレーション会社コードと一致する。

②積荷目録情報が登録されている。

（ｂ）コンテナ情報ＤＢの抽出処理

以下の条件をすべて満たすコンテナをコンテナ情報ＤＢより抽出する。

①入力された船舶情報および訂正前コンテナオペレーション会社コードと一致する。

②積荷目録情報が登録されている。

（ｃ）仮陸揚空コンテナ次港情報ＤＢの抽出処理

入力された船舶情報および訂正前コンテナオペレーション会社コードと一致するコンテナを仮陸揚空コンテナ次港情報ＤＢより抽出する。

（Ｄ）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（Ｅ）内部処理の起動

処理対象のＢ／Ｌまたはコンテナを２０件ごとに分割し、内部処理（積荷目録情報ＣＹ一括訂正（多数件））を起動する。

（Ｆ）注意喚起メッセージ出力処理

内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

（２）内部処理（積荷目録情報ＣＹ一括訂正（多数件））の場合

（Ａ）積荷目録管理ＤＢ処理

入力された船舶情報に対して、コンテナオペレーション会社コードを変更する。

（Ｂ）貨物情報ＤＢ処理

抽出されたＢ／Ｌに対する貨物情報に対して、以下の処理を行う。

①コンテナオペレーション会社コードを変更する。

②ＭＦＲ業務、「積荷目録情報訂正（積荷目録提出業務前）（ＣＭＦ０１）」業務、「積荷目録情報追加登録（ＭＦＡ）」業務または「積荷目録情報訂正（次船卸港の追加）（ＣＭＦ０３）」業務により、搬入時保税運送申告の旨が併せて登録されている場合は、その旨を取り消す。

（Ｃ）コンテナ情報ＤＢ処理

抽出されたコンテナ番号に対するコンテナ情報に対して、コンテナオペレーション会社コードを変更する。

（Ｄ）仮陸揚空コンテナ次港情報ＤＢ処理

抽出されたコンテナ番号に対する仮陸揚空コンテナ次港情報に対して、コンテナオペレーション会社コードを変更する。

（Ｅ）積荷目録情報ＣＹ一括訂正管理ＤＢ処理

抽出したすべてのＢ／Ｌおよびコンテナの処理が完了した場合は、本業務による内部処理中である旨を取り消す。

（Ｆ）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

（１）ＣＭＣ業務の場合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |

（２）内部処理の場合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| エラー通知情報  （積荷目録情報ＣＹ一括訂正） | 抽出したすべてのＢ／Ｌおよびコンテナの処理が完了した場合 | 入力者 |
| 到着即時申告予定コンテナ情報 | 到着即時輸入申告扱いの予備申告の登録がされているＢ／Ｌを処理した場合 | 訂正後コンテナオペレーション会社コード |